

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	スーパー（店 長）	販売量の動き	・猛暑ということもあり、盆を中心に前年の数字を大きくクリアしている。大規模な競合店ができたが、今のところは良い調子である。
	やや良く なっている	商店街（代表 者）	お客様の様子	・厳しい暑さなので商店街を散策しながらの買物をする人が少なく、目的買いが主で衝動買いがない。商店街を中心に行う祭りの人出は例年より多いが、買物は少ない。露店の店への客は多い。
		百貨店（販売促 進担当）	販売量の動き	・猛暑が続いて、夏物クリアランスや暑さ対策商品の日傘、帽子、UV対策の手袋や化粧品の売行きが好調である。
		コンビニ（経営 者）	競争相手の様子	・競合店が5月末で閉まり、それ以降昨年、一昨年と比べ、来客数、売上とも2けたの伸びを示している。新規の客を固定客とするため、欠品には気をつけている。
		衣料品専門店 （経営者）	来客数の動き	・夏物最終処分が、残暑のおかげで、比較的好調である。また、オリンピック選手、特に女性選手の活躍は客を晴れの気分にさせ、若干消費の刺激となっている。
		乗用車販売店 （販売担当）	販売量の動き	・広告方法を変えたら、かなり販売台数が出るようになってきている。単価が安ければ売行きはより好調となるところだが、輸入販売で、あまり安くはない。それでもこの2～3か月の売行きは好調である。
		一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・帰省客の影響もあり、盆までは良く、盆過ぎは一段落である。
通信会社（営業 担当）	単価の動き	・オリンピックの影響もあるが、デジタル加入者が多くなり、通常加入と比べてその分単価が上がってきている。		
変わらない		商店街（代表 者）	お客様の様子	・冷夏で客足が少なかった前年に比べ、本来の夏らしい天気となった今年は多くの客を期待していたが、盆の曜日まわりが悪かったのか、客足は伸びず景況回復感がない。
		一般小売店〔精 肉〕（経営者）	お客様の様子	・盆、納涼祭などあったが、酷暑ということもあり、街中では落ち着いて買物をしている。金メダルの活気が出てくれれば良いと期待しているが、オリンピックの影響はないようである。
		百貨店（販売促 進担当）	販売量の動き	・夏物クリアランス商品の動きもまあまあで、初秋物も若干動き始めており、前年実績100%を維持している。
		百貨店（店長）	販売量の動き	・3か月前も前年の売上をクリアできていなかったが、今月も前年比90%台前半と、売上は上向いていない。
		スーパー（経営 者）	単価の動き	・来客数は減少していないが、1品単価及び買上点数が落ち込んでいる。
		スーパー（統 括）	単価の動き	・来客数は依然伸びているが、一点単価の落ち込みが続いている。記録的な猛暑で飲料、アイスクリーム、加工食品等が好調であり、Tシャツ、ショートパンツを中心とした低価格の衣料品も点数を伸ばし、前年実績を上回っている。ギフト需要は、お届けは横ばいであるが、ビール、乾めんなどの持ち帰りが大きく伸び、前年同期比で6%増となった。菓子、ベーカリー、水産は2～3%減と苦戦を強いられている。
		衣料品専門店 （統括）	来客数の動き	・今年は非常に暑い夏で、商店街への客はめっきり減り、動きがない。
		家電量販店（店 長）	販売量の動き	・8月前半はオリンピック需要で映像関連が良く動いたが、月後半は販売量が減少し、総じて変わらない。
		その他専門店 〔携帯電話〕 （営業担当）	販売量の動き	・6、7月のボーナス商戦以降も販売台数は意外と順調に推移している。
		高級レストラン （店長）	販売量の動き	・来客数は多少増加しているものの、ランチタイムのみで低価格商品が多く、売上増にはつながらない。
		都市型ホテル （スタッフ）	来客数の動き	・宿泊は、前年の2割強マイナスである。婚礼は競合店の進出で、仮予約までは入るが成約までいかない。集会、宴会の単価も依然として低いままである。

	旅行代理店（営業担当）	単価の動き	・季節変動も含め、来客数がやや増加しているが、価格は依然として低迷しており、売上増にはつながらない。
	タクシー運転手	お客様の様子	・盆の里帰りなどで14～15日の2日間は客が多かったが、その後は週末でも動きが悪く、売上は前月と変わらない。
	観光名所（職員）	お客様の様子	・客の入込みは例年並みであるが、自分の別荘等で飲食する客が多く、レストラン、ホテルの売上は例年をやや下回っている。
	遊園地（職員）	来客数の動き	・かなりの入込みが期待された最終週の週末に台風の影響を受け、8月全体での来客数は前年比で微増程度となっている。新アトラクション導入による首都圏でのパブリシティ獲得は、大きく集客に貢献している。
	ゴルフ場（支配人）	単価の動き	・酷暑の夏であったが、標高が高く、涼しさで営業できたので、来場者数の減少はない。周辺コースとの料金バランスでプレー代が下がり客単価が低下したが、レストランや売店の飲料売上は上昇している。
	ゴルフ場（副支配人）	お客様の様子	・猛暑で入場者が減少したものの、秋口の引き合いがあり、若干上向きである。
	美容室（経営者）	販売量の動き	・猛暑で来客が減少し、売上が下がった前月と変わらない。月の中でも売上の悪い日は極端に悪い。単価の高いパーマは長時間いすに座るということもあり、猛暑では客も敬遠気味である。
	その他サービス 〔自動車整備業〕（経営者）	お客様の様子	・客の売掛金の回収がまた悪くなっている。
	設計事務所（所長）	単価の動き	・2～3か月前と来客数は変わらず、小さい物件が多いので単価が非常に安い。
	設計事務所（所長）	競争相手の様子	・同業者でも建設会社の営業担当の話でも、忙しいかそうでないか、仕事の有無がはっきりと分かれている。中間をとると普通である。
	住宅販売会社（経営者）	単価の動き	・一部の地域では、地価の下げ止まりが認められるが、いまだに街中では下がり続けている。
	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・引き合いが増えてきたものの、なかなか成約には至らず、相変わらず苦戦している。空き事務所の状況は変わらないが、店舗等は積極的に埋まってきている。
やや悪くなっている	一般小売店〔青果〕（店長）	販売量の動き	・年々盆暮れのにぎわいがなくなってきている。今年の盆も大きな動きがなかった。
	百貨店（売場主任）	来客数の動き	・猛暑が続き、来客数の動きが非常に悪くなっている。紳士物はスーツ主体のため、この暑さでなかなか購買がない。
	スーパー（経営者）	それ以外	・来客数は前年並みであるが、野菜類の安値が続いていることやお盆商戦の果物ギフトの売上減などから、客単価が前年比3%ダウンの状態となり、全体での売上も前年比3%減となっている。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・メーカーの問題で特殊な状況下にあることから、新車購入希望での来客数、販売台数は前年比50%に落ち込んでいる。
	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	単価の動き	・原油高、ドル高のため、9月からガソリンが大幅値上げとなるが、売価への転嫁が遅れ気味なので、景気はやや悪くなっている。
	スナック（経営者）	来客数の動き	・オリンピックが始まってから人通りがぐっと減り、普通に入ってくる客がほとんどいないような日何日もあり、今月は極端に厳しくなっている。
	都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・官公庁からの利用が極端に少なくなっている。一般企業等も夏場に単価3千円程度の生ビールフェアが出たが、5～6千円となるとやはり激減する。会議等があってもその後の宴会等がない状況である。
	設計事務所（所長）	販売量の動き	・新規の依頼物件がなく、現在手掛けている物件が終了した後、仕事に来る保証がない。同業者や建設業者からも受注物件が少ないと聞いている。
	悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き

		一般小売店〔衣料〕（経営者）	販売量の動き	・学生服を取り扱っている関係で、新学期の始まる8月下旬は例年少し動きがあるが、今年は動いていない。また、店の前のスーパーが9月25日までで休業することが決まり、経済の悪さが足元まで来たという印象を受けている。小さな町の商店街の灯が消えたようになるということで、大変な問題になりつつある。
		コンビニ（店長）	競争相手の様子	・8月後半は非常に気温が低く、いくつも台風が来ているので、売上が上がらず、非常に悪い。
		衣料品専門店（販売担当）	販売量の動き	・来客数はあまり変わらないが、客は買物をしない。世間話をしたり、茶を飲んで時間をつぶすようなことがあっても、購入には至らない。暑すぎるということもあるだろうが、経済環境が良くないという証である。
企業 動向 関連	良く なっている	輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・5月以降受注が前年比で10～15%程度伸びており、8月は20%弱の伸びを示している。景気は持続して良くなっている。
	やや良く なっている	食品製造業（製造担当）	受注量や販売量の動き	・販路拡大により、受注が通常の1.5倍となっている。
		食品製造業（営業統括）	取引先の様子	・各メーカーとも、早生物の新種ワインの動きがわずかに良くなってきている。
		化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・半導体関連がけん引し、受注が増加している。特に海外が好調で、納期が忙しい仕事が多い。
		金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・9月の期末を控え、親工場は注文が非常に多く、今現在注文を断っている状態である。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	取引先の様子	・猛暑の影響でドラッグストア、衣料品店の売上が好調で、両業界は競争も激しいことから1～6月のチラシ出稿量が20～30%増加している。8月全体のチラシ出稿量は98%と前年を下回っているが、これは小売業を始め、チラシ出稿日にかかわる曜日の関係での減少とみている。
変わらない	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年に比べて受注量の動きが鈍い。	
	一般機械器具製造業（生産管理担当）	受注量や販売量の動き	・引き続き高水準での受注量を確保している。一部の工程では当社の加工能力以上の受注量を抱え、注文をこなさきれない状況である。	
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車関連企業は多忙で順調のようであるが、他の業種は非常に厳しい状況が続いている。コストも低いまま変わっていない。	
	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・この2～3か月はずっと良い状態が続いている。	
	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・7月の猛暑により、家電、飲料水の物量が好調だった分、8月は少し落ち着き、前年並みの稼働となっている。	
	その他サービス業〔放送〕（営業担当）	受注量や販売量の動き	・サービス業、流通業を中心に新規のスポットコマercialが出てきているが、大型店等の進出により、既存の商店街、スーパーからのイベント受注が大幅に減少している。総じて変わらない。	
	やや悪く なっている	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・6～8月がピークなので9月以降は落ちる一方である。また、知人の会社が8月25日に自己破産している。景況は良くない。
その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）		受注量や販売量の動き	・シンプルなデザインで低価格の物は売れているが、中級品は売れない。購買意識が宝飾品から離れているようで、7～8月と売上が低迷している。	
不動産業（管理担当）		受注価格や販売価格の動き	・入居しているテナントの要請により、オーナーの負担にて新たにエアコンをつけることになったが、賃料が上がるわけではないので実質的に負担増である。契約更新となるテナントからの賃料引下げ要請も続いており、厳しい。	
悪く なっている	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事削減の影響を受け、7月末時点での売上は前年同月比39%と大幅に減少している。	
雇用 関連	良く なっている	求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・北関東一帯の求人を取り扱っているが、当地区はこの22年間で今が最高の掲載件数となっている。雇用数が大変多くなり、良い方向に向かっている。
	やや良く なっている	求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子	・周辺企業からの広告発注が多くなっている。各企業とも宣伝費の予算も増額してきている。

	新聞社 [求人広告] (担当者)	周辺企業の様子	・求人広告や商店の売出し広告の入稿が少しずつ増加してきている。
	職業安定所 (職員)	求職者数の動き	・前年と比べると新規求職者、有効求職者ともに4か月連続して減少している。有効求人については、4か月連続して増加している。
	学校 [短期大学] (就職担当)	求人数の動き	・学校あて求人や例年のこの時期に来る求人先に問い合わせをしたところ、採用人員を若干増やしている先が多くなっている。また、求める人材の水準を下げないためか、引き続き採用活動を行っている企業もある。特に営業職が多い。
変わらない	人材派遣会社 (営業担当)	採用者数の動き	・引き合い状況に変化は少なく、思うように契約成立数が伸びない。その背景として、保険事務の経験者、20代で秘書業務の経験者、管理栄養士の有資格者などというように、企業側が発注時に絞り込んだ条件を設定しているということがある。適合する人材を登録スタッフから探すことが困難なケースが多く、ハローワークや職業訓練校への問い合わせなど、様々な対応策をとっているものの、契約増には至っていない。
	求人情報誌製作会社 (経営者)	周辺企業の様子	・この周辺でも製造業の景気は多少上向き傾向にあるが、依然として利益率は低く、雇用増にはつながっていない。この夏の暑さでサービス業の一部の売上が伸びたものの、全体的にはパート、アルバイトの補充にとどまり、正社員の雇用は少ない。
	職業安定所 (職員)	周辺企業の様子	・新規求人数は微増であるが、企業縮小などによる雇用調整の動きが若干みられるので、総じて変わらない。
	学校 [大学] (総務担当)	採用者数の動き	・年度途中なので確定した進路状況は出ていないが、最終的には前年度並みの数字と見込んでいる。
やや悪くなっている	人材派遣会社 (経営者)	周辺企業の様子	・求人数の動きは比較的少なくなっている。業種では電子、住宅関連の資材、家電関係は非常に生産が伸びているようで、求人、求職ともに動いている。請負単価、時給単価は3か月前に比べ落ちており、ポイントで把握はできないが、最大50円程度低下している。
悪くなっている	-	-	-